



消防大学校だより



女性の研修機会の拡大に向けた 消防大学校の取組

消防分野でも女性の活躍が期待されていますが、消防大学校における女性の入校数は、近年徐々に増加してきており、平成27年度は、過去最多の15名となりました。

研修は、女性職員がキャリアを拡大し、一層の活躍を図っていく上で非常に有効な方策であり、ポジティブ・アクションとして積極的に推進する必要があります。

このため、消防大学校では、平成28年度より、女性消防吏員のキャリア形成の支援を主たる目的とした5日間の女性専用コースを新設するとともに、各学科の定員の5%を女性消防吏員枠として設定し、優先的に女性の入校を推進します。併せて、消防長をはじめとした幹部に対して、女性活躍推進に係る意識改革を進めるための講義を実施することとしています。

また、女性の受入れ拡大に対応して、新年度、女性教官を配置することとしました。

入校した女性に親身に対応するとともに、女性の視点から学校運営や教育訓練をチェックし、さらには消防学校等

における女性職員のキャリアアップに関する取組を応援することなどを期待しています。

そして先月には、学生寮の一部増築等により、女性専用施設が完成しました。浴室、トイレ、更衣室、談話室など女性の寮生活に必要な施設を備えています。

この施設は、新任教官科第9期に入校中の女性学生4名の提案により、「さくら倶楽部」と名付けられました。この名称には、記章に桜を刻む消防の心意気、桜が美しい消防大学校キャンパス、そして女性らしい優しさが込められています。女性の入校生に愛される施設となることを願っています。

このように消防大学校では、女性の入校生増大に向けて着々と準備を進めています。消防大学校で教育訓練を受けた女性が消防本部等で活躍し、女性消防士のロールモデルとなって、女性の活躍が拡大していく、そのような流れとなることを期待しています。

女性職員の積極的な派遣・入校をお待ちしています。



女性専用施設「さくら倶楽部」の命名



女性専用施設「さくら倶楽部」外観

■ 実火災体験型訓練（危険物火災）の開始

消防大学校では、平成28年度より新たな訓練として、危険物火災の特性の把握と消火を目的とした実火災体験型訓練（危険物火災）を実施します。

訓練は、消防研究センター大規模火災実験棟内で、危険物火災の特性であるボイルオーバー現象の把握、石油火災の輻射熱体験、更に漏洩石油火災対応、石油火災消

火（模擬タンク火災泡消火）要領の修得を目指します。

火災の性状変化、火災現場と同様の熱・煙、注水による熱気・環境の変化を体験させる実火災体験型訓練（ホットトレーニング）と併せて実施することで、より高度な技能向上を図ります。



模擬タンク火災泡消火の様子



漏洩石油火災対応の様子

■ 教育訓練の実施状況（平成28年1月～3月実施分）

- **上級幹部科第79期（43名）が卒業しました。**
1月12日から28日までの17日間、消防の上級幹部としての資質の向上を目的に消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義をはじめ、消防法制・消防管理・消防運用等の必要な知識の修得に努めました。
- **航空隊長コース第15回（55名）が修了しました。**
2月3日から17日までの15日間、航空隊の幹部に必要な適切な業務執行と危機管理能力、緊急時の際の初動対応等の修得に努めました。
- **幹部科第44期（83名）が卒業しました。**
1月12日から2月26日までの46日間、最新の消防行政・財政の講義のほか、実火災体験型訓練や指揮訓練等を実施し、幹部として必要な知識の修得に努めました。
- **予防科第99期（48名）が卒業しました。**
1月13日から3月2日までの50日間、最新の予防行政の講義のほか、違反処理事例の紹介・解説、授業時間外に自主的に取り組んだミニ講座など、予防業務の教育指導者等として必要な知識の修得に努めました。

- **高度救助・特別高度救助コース第5回（66名）が修了しました。**
2月22日から3月4日までの12日間、全国各地の事例紹介、大規模災害想定や緊急消防援助隊の派遣活動等を想定した訓練を実施し、業務に必要な知識の修得に努めました。
- **新任教官科第9期（105名）が卒業しました。**
3月8日から18日までの11日間、教育技法や安全管理、パワーハラスメント等を理解した教育指導法等の消防学校教官として必要な知識の修得に努めました。
- **NBCコース第5回（66名）が修了しました。**
3月7日から18日までの12日間、NBC災害対応時における現場管理の習熟（初動活動要領・部隊運用要領・現場指揮要領）を目的として、NBC災害を想定した対応訓練等を実施し、業務に必要な知識の修得に努めました。

★消防大学校の最新情報は、ホームページ (<http://fdmc.fdma.go.jp/>) にも掲載しています★

問い合わせ先
消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712